



全身ずぶ濡れになりながらアメゴを捕まえる子どもたち

「第50回四万十川まつり」開催

今年で50回目を迎える「四万十川まつり」が、8月14日、こいのぼり公園にて開催されました。

イベント会場には、アメゴやうなぎのつかみ取りコーナーのほか、地域内外からの出店も並び、にぎわいを見せていました。中には、服を濡らしながら必死にアメゴを追いかける子どもたちの姿も。夜には、およそ800発の花火が、河原から打ち上げられ、十和地域の夏の夜空を彩りました。ご来場いただいた皆さま、ご寄付により支援をいただいた皆さま、誠にありがとうございました。



大自然のスライダーや飛び込みなどを楽しんだ子どもたち

日野地川で沢下りイベント開催

四万十川の支流である日野地川上流で、小学生を対象にした沢下りイベントが、7月27日に開催されました。

参加者の中には、夏休みに町内の親戚のお家に遊びに来ていた東京出身の小学生もあり、最初は「川に入るだけでも怖い」という場面も見られましたが、徐々に川にも慣れ、沢下りが終わる頃には、「まだ帰りたくない」と言ってなかなか川から上がってくれない一幕も。

参加した子どもたちにとっては、川の魅力を全身で体感できた貴重な一日となりました。



元気にハツラツとプレーした仁井田米コメッツ

「第64回高幡子ども会親善ソフトボール大会」開催

「高幡子ども会親善ソフトボール大会」が7月21日、四万十町窪川運動場にて開催されました。この大会は、第74回法務省主唱の「社会を明るくする運動」事業の一環として開催されたもので、県内から8チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

開会式では、十川スポーツ少年団の芝千介主将が力強い選手宣誓を披露。

決勝戦は、仁井田米コメッツと宿毛ソフトボールクラブが対戦し、中盤以降に怒涛の攻撃を見せた仁井田米コメッツが、見事6-1で勝利をおさめ、優勝を果たしました。



見事女子の部で第3位に入賞した竹島・武田ペア

「第15回四万十町硬式テニス大会」開催

「四万十町硬式テニス大会」が7月21日、四万十町窪川運動場で開催されました。

大会当日は天気も良好で皆さん暑い中、汗を流しながらテニスを楽しみました。

この大会には、町内外からの選手の参加があり、女子の部では町内の竹島ゆかり・武田利枝ペア（ウェルカムズ）が見事第3位に入賞しました。

参加した選手の皆さま、本当にお疲れ様でした。



約80名の踊り子たちの熱い演舞が、観客を魅了！

よさこい祭りで「四万夢多」演舞披露！

「第71回よさこい祭り」が8月10日、11日の2日間、高知市で開催され、本町からは「四万十町よさこい踊り子隊 四万夢多」が参加しました。

今年のテーマは『郷愁』。四万十町の出身者や縁のある人たちが故郷を懐かしみ、思いを寄せてつながってってもらいたいと願いを込めて、楽曲、振付、衣装が制作されました。

代表の東山倫（うん）さんは、「地域、年代を越えて、いろんなご縁でつながったこの四万夢多で、これからますます町を盛り上げていきたい」と、今後の意気込みを語ってくれました。



きれいなプールの水で泳げる喜びを実感した東又小の皆さん

水（みづ）ケーション ～森と水の授業を開催～

森と水の大切さを伝える水ケーション授業が、7月4日は窪川小学校と川口小学校の4年生を対象に、また5日には東又小学校の5・6年生を対象に開催されました。

（一社）森と未来代表理事の小野なぎささんから、森林の役割や水の大切さについてのお話の後、シドニーオリンピック競泳日本代表選手の萩原智子（あきこ）さんからは、現役時代に汚れた水の中で競技に臨んだ海外大会の経験談を講話いただきました。児童たちは、普段生活できているのは、森と水のおかげであることを学び、改めて森と水の大切さを感じていました。



勇気を出して一斗俵沈下橋からダイブ！

ふるさと学習事業「川がき体験学習」開催

今年もふるさと学習の一環として、8月2日米奥小学校近くの河原で町内の5年生を対象とした「川がき体験学習」を開催しました。このイベントは、四万十川に親しみが持てる学習体験を実施することを目的に、毎年開催しています。参加した44名の児童は、竹水鉄砲作りやハヤ釣り体験、スローロープ体験や心肺蘇生など、普段はできないことを経験。

昼食には、四万十川で取れた鮎（あゆ）の塩焼きとカレーライスをみんなで食べ、生まれ育った四万十町の自然と川の恵に触れ、他校の生徒との交流もできた貴重な一日となりました。



ハヤンボ釣りを楽しむ子どもたち

「川で遊ぼうin四万十リバー」開催

松葉川地区の城ハナ公園下の河原で、小学生を対象にした川遊びイベントが、7月21日に開催されました。

上流淡水漁業協同組合の協力のもと、参加者たちは、川舟の試乗体験や投げ網体験、また塩焼き用の鮎への串打ちや昔ながらの川遊びであるハヤンボ釣り体験など、普段、経験したことのないような数々の体験を楽しんでいました。イベント終了後に実施したアンケートでは、「鮎がたくさんいる川にしたい」「楽しくてきれいな川にしたい」という意見もあり、イベントを通して、今後の四万十川の在り方について学ぶ機会となりました。